



ひよこぐみ

9月になりましたが、変わらず暑さは続いていますね。保育園でもしっかり水分補給をして、みんなで元気に過ごしていきたいと思います！今回は、保育園で子どもたちがどの様に遊んでいるのかを紹介したいと思います。

## みんな大好き！ ポトリンコ！

「ポトリンコ」とは、入れるものに合わせて穴を開けてある容器に、ものを入れて遊ぶものです。ボールやつまみなどが掴めるようになると手から離せるようになり、穴に入れられるようになると、できる遊びです。**手先の器用さ、集中力、好奇心を養う遊び**でもあります。

ポトリンコには段階があります。まずは握ること。お座りが出来るようになると、両手を自由に使えるようになります。そうしたら、ポトリンコのスタートです！ミルク缶に子どもの手のひらサイズのお手玉やボールを入れることから始めます。そして手のひら全部で握っていたのが、段々と指先でものをつまめるようになっていきます。段階としては、

お手玉⇒ボトルのキャップ⇒細いホースチューブ⇒棒⇒つまみ（棒状、四角、細長いもの等）⇒ひも状のもの（チェーン等）へと進みます。

基本的にはおとなと1対1で行うことを大切にしています。一緒にやってみて、できた！の気持ちから、自分でやってできた！！の達成感。更に褒められた時のうれしい気持ちから、自己肯定感も高まります。それを繰り返していくと、もっと難しいものに自ら挑戦していく気持ちも芽生えてきます。

ただ楽しいだけでなく、脳をフル回転する遊びでもあります。目で見えたものをどのように手を動かせば入るかなと脳で考え、その動きを手に伝えて入れています。これを、**手と目の協応**といいます。

また、物によって持ち方、入れ方、押し込む力加減、逆の手で容器をおさえて入れる・・・等色々なことを考える必要があります。大人はそれを、見本を見せながら知らせています。

楽しく遊びながら、子どもたちはたくさんの刺激を脳に送っているのです。

一人一人の発達に合った遊びを提供し、できた！と感じられる機会をたくさん増やしていきたいなと思っています(^)



はじめはシャワーの音がしているだけで泣いている子どもたちも、今では水遊びの準備をしていると外への出入り口に集まってきて、楽しみにしているのを感じます。

タライでの水遊びも慣れてきて、バシャバシャと水しぶきをあげ、顔に水がかかっても平気になってきました！集中して遊んでいる姿はとてもかわいいです！